



アドボカシーワークブック

Q&Aセミナー

初めてでもわかる！  
政策提言入門

2011/7/16

沢口 絵美子/がん政策情報センター

# 目次

- アドボカシーワークブックの紹介
- 皆さまからのご質問
- グループで情報交換会

## アドボカシーワークブックの紹介

- 患者さんが作る 提言活動の手引き
  - 第1章 アドボカシー
  - 第2章 マネジメント
  - 第3章 医療政策

→アドボカシーを実践するための“足掛かり”

## 第1章 アドボカシー

- アドボカシーとは  
「誰かの味方となって、その権利を擁護し主張を推進すること」
- 患者の立場でアドボカシーを行う人  
「患者アドボケート」
- ワークブックでは特に、「医療政策」に対してアドボカシーを行う際のノウハウを記載

## 第2章 マネジメント

- なぜ“マネジメント”か
  - ・継続したアドボカシーには資源が必要
  - ・資源とは→人・モノ・カネ・情報、時間
- 患者アドボケートの持つ資源は限られている  
「効率よくアドボカシーを行うヒント」



## 第3章 医療政策

### ● “医療”とは

- ・人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動について用いられる広範な意味を持った語（ウィキペディアより）
- ・厚労省では、「医療・健康・保険医療・介護」という行政上の分類がある

### ● “政策”とは

- ・政策とは、公共体が主体となって行う体系的な諸策のこと。現代社会においては、政府や政党などの施政上の方針や方策を指すこともある。なお、その策を実施することを施策という。（ウィキペディアより）

# がん患者関係者がアドボカシーする理由

## アンケート調査

### 調査方法

- がん関係の患者会、メディア、および大会参加者にアンケートへの協力を依頼
- 郵送およびウェブにより調査

### 調査時期

- 2005年

### 実施主体

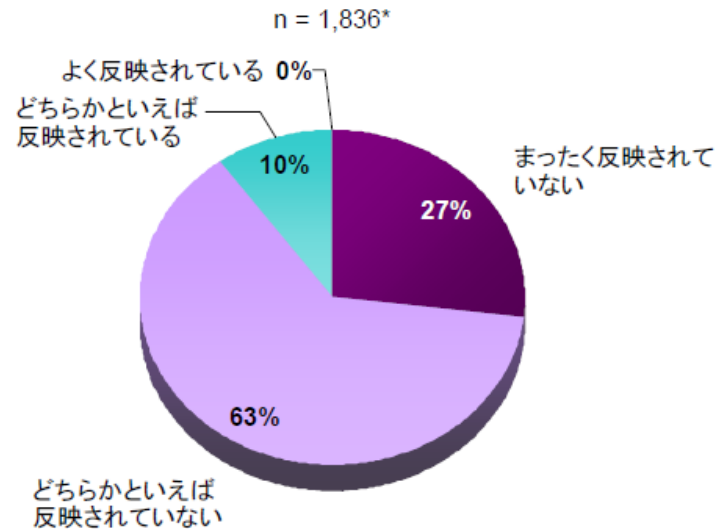
- 調査主体は東京大学医療政策人材養成講座
- 今回の解析は、日本医療政策機構(主査:近藤)が実施

### サンプル数

- サンプル数は1,836名

図1 がん関係者の9割が患者の声は医療政策に反映されていないと感じている (%; 2005)

(問) がん患者の声は、現在、医療政策に反映されているとお考えですか



\* 1,836名のがん関係者の回答を、日本における男女別・年齢別の原発のがんの種類の分布に基づき、同じ分布になるべく調整  
資料: 東京大学医療政策人材養成講座のデータに基づき、日本医療政策機構が解析

## 患者が求めるがん対策 vol.2

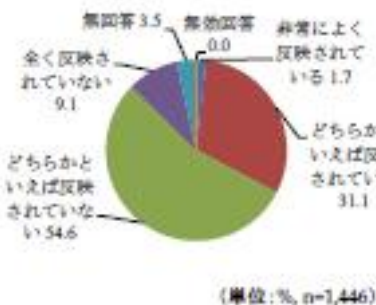
～がん患者意識調査 2010年～

### ⑧がん患者の声「政策に反映されていない」63.7%

現在のがん政策について、がん患者の声が「全く反映されていない」「どちらかといえば反映されていない」と回答した人は合わせて63.7%であった。がん患者の声を実際に反映させるために積極的に行うべきと思うことを聞いたところ、「がん患者のニーズに関する積極的な情報発信」が首位であった(66.8%)

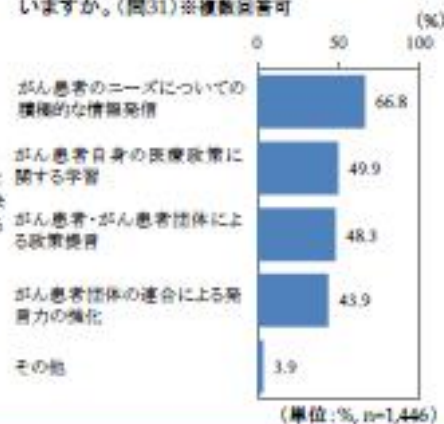
図⑧-1

がん患者の声は、現在どの程度がんの医療政策に反映されていると思いますか。(問30)



図⑧-2

がん患者の声を実際に反映させるために、がん患者がより積極的に行うべきことは何だと思いますか。(問31)※複数回答可



自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- ・がんを体験した人達が、もっと使命感を持って声をあげていくことが大切(がん患者・経験者、40歳代、女性、子宮)
- ・今でこそ患者会等の団体に対し、国や病院側がやっと歩みよってくださるようになりつつありますが、経験をした者の声や体験談の話は、ぜったい医療にたずさわる方々にとってプラスになると考えます。患者団体同士のネットワークを広げると共に、医療者や患者会、団体とのネットワークが広がるような場が沢山あると良いと思います。(がん患者・経験者、40歳代、女性、乳房)

**【まとめ】** がん患者の声が、がん医療政策に反映されていないと回答した人は6割以上であった。声を反映させるために、がん患者自身のニーズについての情報発信の方法や、発信された情報を医療政策に反映させる仕組み作りについて、具体的な策を実施する必要がある。

## がん政策サミットの間を、ぜひご活用ください

- 地域の患者リーダーとのご縁（ネットワーク）
- 体験談、最新情報の共有
- 合意形成の手法を習得する

### 【継続した活動支援】

- Cancer Leadersメーリングリスト
- ウェブサイトでの情報提供
- 調査の実施

# 皆さまからのご質問1

## ● 第1章 アドボカシー

### 【がん条例制定について】

- 議員へ働きかけた事例を知りたい
- 条文案はできた、どうすれば良いか
- 条例制定を働きかける効果的な資料作成

# 条例の制定状況(都道府県)

制定日	都道府県	名称	特長
2006年9月29日	島根県	島根県がん対策推進条例	全国初の都道府県がん条例、患者会活動の支援
2007年3月23日	高知県	高知県がん対策推進条例	相談窓口の整備など
2007年3月27日	新潟県	新潟県がん対策推進条例	「骨髄移植の推進」について明記
2008年3月31日	神奈川県	神奈川県がん克服条例	様々なステークホルダーと連携してがん対策を推進と明記
2008年8月15日	長崎県	長崎県がん対策推進条例	「民間団体等が行う活動の支援」として、患者相談を明記
2009年3月24日	神奈川県	神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例	公共施設の禁煙や分煙を規定した全国で初めての条例
2009年10月9日	奈良県	奈良県がん対策推進条例	10月10日を「がんと向き合う日」と規定
2010年3月19日	愛媛県	愛媛県がん対策推進条例	患者の負担軽減に資する施策、がん対策推進委員会の設置
2010年3月19日	徳島県	徳島県がん対策推進条例	パブリックコメントの募集を実施、女性特有のがん対策の促進
2010年6月23日	鳥取県	鳥取県がん対策推進条例	がん対策財源の確保、患者が不利益を被らない社会づくり
2010年7月1日	岐阜県	岐阜県がん対策推進条例	受動喫煙の防止、セカンドオピニオンの推進
2010年12月16日	群馬県	群馬県がん対策推進条例	事業者にも、働きながら治療を受けられるように努力義務を課す
2011年3月8日	秋田県	秋田県がん対策推進条例	県が講じた施策について、報告書を作成し、議会へ提出する
2011年3月11日	京都府	京都府がん対策推進条例	「京都府がん対策推進府民会議」を設置し、府民活動を推進
2011年3月15日	大分県	大分県がん対策推進条例	がんの予防と早期発見に関する様々な施策を推進
2011年3月22日	大阪府	大阪府がん対策推進条例	肝がん、小児がん、白血病など、がんの種類別に対策を明記



## 参考 条例の制定状況(市町村)

制定日	都道府県	名称	特長
2007年2月20日	島根県出雲市	出雲市がん撲滅対策推進条例	島根大学病院の支援のための資金2,900万円を確保
2007年12月7日	和歌山県岩出市	岩出市がん対策推進条例	県に先駆けて市によって策定された条例
2010年6月2日	東京都日の出町	日の出町がん医療費の助成に関する条例	がん患者の健康保険診療での医療費の自己負担分を無料化
2010年9月21日	千葉県匝瑳市	匝瑳市がん対策推進条例	予防ワクチン支援、肉体的・精神的な苦痛の軽減
2010年12月13日	東京都豊島区	豊島区がん対策推進条例	区によって、がん対策推進計画を策定
2011年3月11日	岡山県岡山市	岡山市がん対策基本条例	「岡山市がん対策推進委員会」を設置し、市民総ぐるみで推進
2011年3月18日	千葉県柏市	柏市がん対策基本条例	患者サービスは、市民生活に密着した市の役割が重要と明記

15府県7市区町



# 制定県の皆さん、具体的な事例を教えてください

## ●ご参考)がん政策サミット2010秋

## 皆さまからのご質問2

### ● 第2章 マネジメント

#### 【資金調達について】

- ・健康食品関連企業への対応
- ・活動資金の確保について
- ・法人格の取得について
- ・体験談を聞きたい

## 資金提供を受ける際に注意したいシーン

1. 特定の商品の広告を依頼される
2. 活動内容に注文をつけられる
3. 科学的根拠のない治療法や健康商品の販売等をしている

→では、どうしたら良いでしょうか

# 資金提供元との協働に関する指針

1. 独立性の担保
2. 透明性の確保(情報公開)

→複数の資金提供元から賛同を得られる活動を展開する

## 資金の確保先について

### 【主な研究費・助成金】

- ・厚生労働省科学研究費補助金
- ・公益財団法人 正力厚生会
- ・財団法人 先端医療振興財団
- ・公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

このほか、行政からの委託事や事業収入、会費収入を活動資金に充てている団体も  
→みなさんはどうされていますか？

## 皆さまからのご質問3

- 第3章 医療政策
  - 専門医育成
  - 緩和ケア
  - 在宅医療
  - 相談・支援、ピアサポート
  - 社会的支援
  - がん検診

個別に回答させていただきます

- ・海外団体の成り立ち
- ・合意形成の場づくり
- ・「がんサロン」「相談員」養成プログラム

今後も、お気軽にご相談ください

[emiko\\_sawaguchi@hgpi.org](mailto:emiko_sawaguchi@hgpi.org)